

スポーツの秋、水辺にぎわう、たらい舟やアユ釣りなど

【概要】

揖斐川における河川の年間利用者は約70万人と推計※1とされ、その多くは、河川敷を中心に散策やスポーツなどのレクリエーションとなっています。

区分	項目	年間推計値（千人）		利用状況の割合			
		平成9年度	平成12年度	平成9年度		平成12年度	
利	スポーツ	178	111	散策等(55%)		散策等(56%)	
用	釣り	245	172	スポーツ(14%)		スポーツ(8%)	
形	水遊び	130	202	水遊び(11%)		水遊び(14%)	
態	散策等	685	964	釣り(20%)		釣り(12%)	
別	合計	1236	1449	堤防(12%)		堤防(10%)	
利	水面	34	46	水際(28%)		水際(3%)	
用	水際	341	335	高水敷(57%)		高水敷(55%)	
場	高水敷	709	797	水際(28%)		水際(23%)	
所	堤防	152	271				
別	合計	1236	1449				

※1 平成21年度 河川水辺の国勢調査（河川空間利用実態調査編）より

季節は秋に入り、秋風に吹かれながら、アウトドアスポーツやレジャーを楽しむには最高の季節となりました。現在、杭瀬川の河川敷では、週末を中心に野球やサッカーなどのスポーツで汗を流し、揖斐川では、産卵期に川を下る、「落ちアユ」を狙う太公望が早朝から釣り糸を垂らしています。



杭瀬川河川敷で見られるスポーツ活動（9月29日撮影）

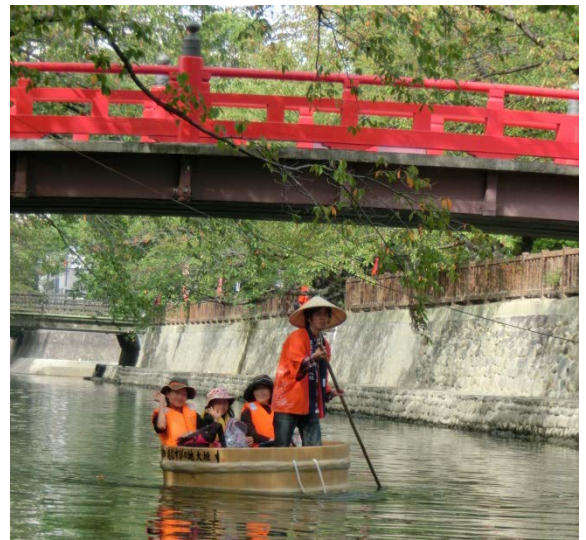


揖斐川42.0K付近（第5床固）のアユ釣り（10月4日撮影）



左の写真は、9月26日、養老町在住・Kさんの釣果です。体長20cmクラスの落ちアユを約80匹釣り上げたそうです。

また、大垣市中心部を流れる水門川では、現在、秋の「たらい舟」で川下りを楽しむことができます。



水門川のたらい舟（10月5日撮影）